

福島町議会議員の評価

評価期間：平成22年4月～平成23年3月

評価の分類：○＝「ほぼ満足」 △＝「努力が必要」 ▲＝「さらに努力が必要」

所属委員会・役職名	在職年数	氏名	年齢
議会運営委員長、経済福祉常任委員会副委員長	4年	木村 隆	31

評価項目	具体的な項目	評価	
		取組み 評価	結果 の評価
1. 行政分野の取り組み	4年間の最重要課題の検証（一般質問）	○	○
	東京農大との連携による方向性の明確化	△	▲
	重要課題（子育て応援特別手当問題、物品納入問題など）には一般質問などでメスは入れ問題を提起し、解決してきた。		
2. 財政分野の取り組み	21年度町単独の子育て支援に係る決算委員会での可否への取り組み	○	○
	過疎債や、特別交付税など、町財政に有利に働く仕組みや内容を、もう少し勉強しなければならない。		
3. 経済分野の取り組み	ブルーベリー事業（修正案に対する発言から農業委員会や農業者へのブルーベリー事業の本質の明確化と将来性の検証）	○	△
	ナマコ事業、ブルーベリー事業は、せっかくの産業政策なのに、まったく方向性や事業の仕方が伴ってなく、修正案で問題点を改善した。		
5. 教育分野の取り組み	中学校の統廃合が行われた事による影響や検証	○	○
	中学校統廃合問題には、色々と意見を言ってきた。統廃合はスタート。本格的に問題がでるのはこれからだと思う。注視していきたい。		
6. その他の取り組み	開発計画がスタートしたことによる、提案型からチェック型への移行	○	○
	議員権威の向上	○	△
	町民に意識の変化を求める。	○	△
	議会は数の社会。その中でチャレンジと我慢の苦悩がもどかしく、なかなか議員姿勢が定まらなかった。ただ、これからの人間なので、たくさんの議会経験を基に、本格的な活躍をしていく糧としては、十二分な4年だった。メディアに振り回された議会の、再構築が必要。		

※各項目に4年間の総合的な評価を簡潔に記入しています。